

山田みやこの活動報告

令和5年10月3日(火)

令和5年度性暴力を考える講座

「子どもへの性虐待とトラウマ」～見逃さない支援と対応～

講師 西澤哲氏（山梨県立大学人間福祉学部教授）

40年近く児童虐待にケアにたずさわり、心の健康の臨床ソーシャルワークの現場での活動

- 性虐待を受けた子どもたちとの出会い
 - ・ 膝に座りたがる少1の女の子
 - ・ 凄まじい「異食」を繰り返す男子高校生（カミソリ・紙）
 - ・ 依存症一家で養育され「援助交際」を行う中学生
 - ・ 極端な摂食障害（不食・大食）を呈する女の子
 - ・ 自傷行為を繰り返す思春期女子
- いまだに「発見」されていない性的虐待
 - 欧米に比べ桁違いに低い性的虐待 欧米10数% 我が国1%
 - 子どもの開示に依拠する性的虐待の発見
- 性的虐待に由来する心理・行動上の問題
 - 自傷行為、自殺、摂食障害、解離性障害、援助交際
- 児童養護施設の性的問題
 - ・ 性的虐待を受けた子どもの増加（10～20%）
 - ・ 施設における加害・被害の連鎖の拡大
 - ・ 現実逃避としての性的行動
- ケースワーカーによる施設内性虐待
 - ケースワーカーからの子どもへの性的虐待
- 性被害を受けた子どものケア、治療
 - ・ 情緒的衝撃の緩和
 - ・ 特定の性被害だけが問題ではなく、人生史に折り重なる
 - ・ 被害体験もある
- 性被害・性加害はの治療・ケア
 - ・ 性的トラウマの心理精神療法
 - ・ 強い無力感・孤立感・長期間の否定的感情が「支配」という形での性加害を生むという認識に立った対人関係の濃密なケア

※性虐待を受けた子どもの心理を奥深く理解し対応策を話されたが、非常に難しい内容だった。